

第6章 市役所の率先行動

市民や企業の皆さまと一丸となり、横浜市全体で『身近に自然や生き物を感じ、楽しむことができる豊かな暮らし』の実現を目指していくため、まずは横浜市役所が率先して、生物多様性のための取組を進めます。

1 横浜市 ISO 環境マネジメントシステムによる推進

横浜市役所は、平成 18 年 6 月に全組織で ISO14001 の認証を取得しました。以降、エコオフィス活動などの環境取組を進め、一定の成果を上げてきました。そして、市役所および市全体の環境行動をさらに強化・推進するため、平成 22 年 2 月に「横浜市役所環境行動宣言」を發表し、職員全員で脱温暖化や緑化推進など様々な環境行動に取り組んでいます。

現在は、各区局統括本部の環境行動目標に生物多様性の視点を盛り込み、横浜市 ISO 環境マネジメントシステムにより推進しています。そして、所属間で意見交換や取組・成果の共有化を行い、さらに次の環境行動目標に生かしていくことで、市役所全体で率先して生物多様性の取組を進めます。

[横浜市における実践例]

- 公園における鳥の採餌や植物に配慮した草刈などの維持管理
- 公共施設・公有地における生物多様性の向上に寄与する取組
- 職員によるエコライフスタイルの実践 など

2 「現場の知恵」の集約

地域と連携した地産地消の展開や下水道事業における生物多様性定量評価、また、手軽にできるセルフ自然観察カードを活用した自然体験の実施など、市内の様々な部署で、それぞれ業務の特色に応じた生物多様性の取組が行われています。

そうした現場で培われる知恵・経験・ノウハウを共有し、横浜市全体に取組を広げていくために、事例発表会や研修会、研究会を定期的 to開催します。



職員事例発表会の様子